

## 編集後記

< \* > 今回には日立製作所の保田和雄氏に巻頭言の欄への御寄稿をお願いしました。指標欄への寄稿については英国のAlane Townshend教授をお願いいたしましたが、時間の都合上今回は間に合いませんでした。次回に掲載致したいと思えます。国外からの寄稿にご希望がございましたら事務局までお知らせください。今回は総説の欄に名工大の和田先生からFIAの各組立部品における選択の上で重要な知見が示されており、実際、FIA系の設計上で有用ではないかと思えます。また、前号でお知らせしましたようにFIA法のJIS通則が制定され、FIA法を各論への展開を図るために、FIA装置メーカーを中心として従来のJIS法との相関について検討されていますが、今回はそれらの結果についての研究報告が本誌に投稿され、掲載しております。この様な比較検討が活発になされ、FIA法が早くJISの各論として採用されることを期待しています。今後も多くの論文の投稿をお待ちいたしております。

< \* > 第12回フローインジェクション分析研究会講演会が、平成元年12月1日に熊本工業大学にて、上野先生のお世話で開催されます。本誌の発行が講演会の開催後になりそうで申し訳ありません。

< \* > 本誌5巻1号でお知らせしましたようにFlow Analysis Vの日本（熊本）での開催が決まりましたが、本研究会を中心にして、準備委員会の設置を行ない、活動を始めております。1stサーキュラーを同封しています。多くの参加をお待ちしております。

< \* > 第2回中国FIA会議が本年10月17日～21日に中国科学院生態科学研究所（瀋陽）のFang Zhanolun教授を中心に開催されました。日本から本研究会の世話人代表の石橋教授並びに和田教授が参加されました。和田先生にはその時のようすを御寄稿いただきました。

< \* > 事務局では本会誌への多数の御寄稿をお待ちしております。

（今任稔彦）